

< あなたの治療について >

血内-RB-DLBCL-q3w (1回目)

今回の治療は、RB療法という治療法で、リツキシマブ（RIT）とトレアキシン（TRA）という2種類の注射薬を併用して行います。リツキシマブ、トレアキシンは、共に腫瘍の増殖を抑えるお薬です。2つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。

◎治療全体の流れ

今回の化学療法は3週間が1コースとなっています。各コースの1～3日目に点滴を行います。2回目以降は2日間で行います。この治療を3週間（21日間）ごとに6回繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

◎1コース分の治療スケジュール

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2日目	3日目	4~21日目
①	アセトアミノフェン レスタミン (熱・アレルギーを抑える薬)	内服		お休み		お休み
②	リツキシマブ (抗がん剤) 375mg/m ²	点滴 約25mL/時				
③	グラニセトロン (吐き気止め)	点滴 約30分	お休み			
④	トレアキシン (抗がん剤) 120mg/m ²	点滴 約10分				

★ 点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなつてはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

◎起こりやすい副作用について (頻度 20%以上)

リツキシマブとトレアキシンによる

●白血球数減少、好中球数減少、リンパ球数減少、CD4リンパ球減少、顆粒球減少、血小板数減少、ヘモグロビン減少 ●感染症 ●貧血 ●発熱 ●発疹 ●疼痛 ●咽頭炎

◎特徴的な副作用について

リツキシマブにおける

●インフュージョンリアクション

「呼吸困難、意識の低下、意識の消失、まぶた・唇・舌のはれ、発熱、寒気、嘔吐、咳、めまい、動機」などの症状

●肝機能障害・黄疸

「疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる」などの症状

●消化管穿孔・閉塞

「激しい腹痛、吐き気、嘔吐、寒気、発熱、ふらつき、息切れ、意識の低下、便やおならが出にくい、お腹が張る」などの症状

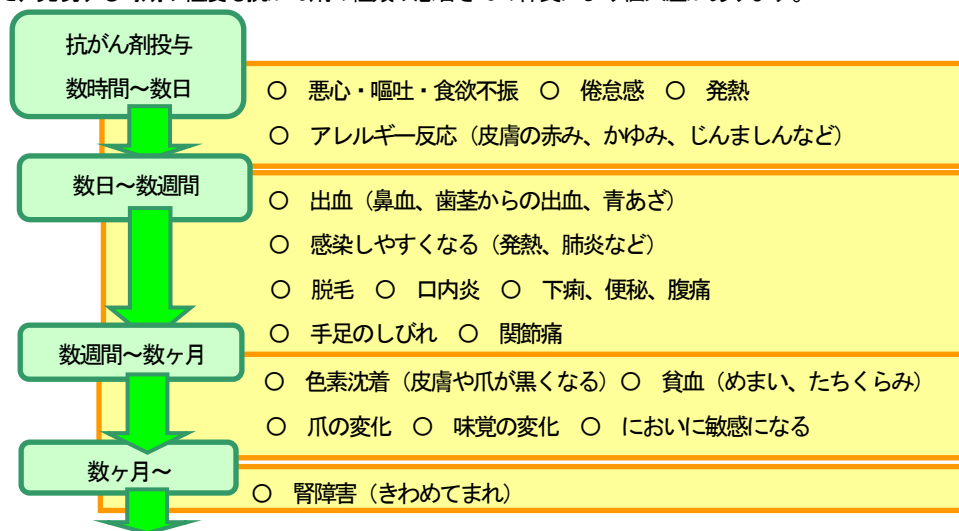
*** 上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。**

◎副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



◎副作用の対策について

★吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

◎薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）

まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【リツキシマブ】

[インフュージョンリアクション] 脱力感、めまい、息苦しい、眼と口唇のまわりのはれ、意識の低下、胸の痛み

[腫瘍崩壊症候群、腎障害] 脇腹の痛み、血尿、尿量が減る

[B型肝炎ウイルスによる劇症肝炎、肝炎の増悪、肝機能障害、黄疸] 発熱、からだがだるい、皮膚や白目が黄色くなる、嘔吐、食欲不振、羽ばたくような手のふるえ

[皮膚粘膜症状] 高熱、まぶたや眼の充血、唇や口内のただれ、中央にむくみをともなった赤い斑点、全身の激しい、かゆみ

[血球減少] 発熱、のどの痛み、めまい、息切れ、動悸、鼻血、出血しやすい

[感染症] かぜのような症状、からだがだるい、発熱、嘔吐

[進行性多巣性白質脳症、可逆性後白質脳症症候群などの脳神経症状] けいれん、ふらつき、意識がなくなる、しゃべりにくい、覚えられない

[間質性肺炎] 発熱、から咳、息苦しい、息切れ

[消化管穿孔・閉塞] 吐き気、嘔吐、激しい腹痛、むかむかする、排便の停止

[血圧下降] 脱力感、立ちくらみ、めまい

【トレアキシン】

[骨髄抑制] いつもより体がだるく熱っぽい、皮下出血がある

[感染症（敗血症、肺炎など）] 寒気がする、ふるえを伴う急激な高熱がでる、脈拍が増加する、筋肉痛がある、関節が痛い、血圧が下がる、咳や痰が出る、息切れがする、全身倦怠感、食欲不振

[間質性肺炎] 熱が出る、から咳が出る、息苦しくなる

[腫瘍崩壊症候群] 尿量が少なくなる・血尿、意識がうすれる、けいれん

[重篤な皮膚症状] 高熱（38℃以上）、目の充血、口や唇のただれ、水ぶくれ

[ショック] 顔が青ざめる、冷汗が出る、立ちくらみやめまいがする、息切れがする、意識がなくなる

[アナフィラキシー] 息苦しくなる、蕁麻疹（じんましん）やかゆみが出る、眼や唇のまわりが腫れる、意識障害がある、心臓がドキドキする、体がだるくなる、頬などが赤らむ

◎ **上記のほかにも副作用が現れることがあります。**

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。